

令和7年度小牛田農林高等学校
農業農村整備事業学習会を開催しました！

12月10日に、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの1学年35名を対象とした農業農村整備事業学習会を開催しました。この学習会は、当部が平成18年度から毎年開催しており、今年で20年目になります。6月に開催した学習会では、ダムや頭首工など水利施設の見学や世界農業遺産について学びましたが、今回は農業・農村に関する講義やワークショップを行いました。

講義では、当部の若手職員が講師を務め、「農業農村整備とは何か」や「農地整備事業の効果」について説明しました。また、小牛田農林高等学校のOBである職員からは、「農業土木技師のお仕事」と題して、現在取り組んでいる業務や入庁してから感じたことなどについて説明しました。

ワークショップでは、テーマである「農業・農村についてたくさんの人に知ってもらうためには」について、農業・農村の現状や課題、解決策について考え、グループで話し合いを行いました。多くのグループが、「高齢化」や「人手不足」を現状や課題として挙げており、解決策では「SNSで魅力を発信する」、「農業体験」など様々な意見が出てきました。



講義の様子

ワークショップの様子

講義では、先輩が農業土木職員として、どんな活躍をしているのかを知ることができ、ワークショップでは、テーマについてグループで話し合うことにより、チームで協力することの大切さを学ぶことができました。

アンケートでは、グループで話し合うことによって、別の視点を知ることができ、農業に対する考えが深まったとの声がありました。この学習会が、生徒の皆さんにとって、進路選択の一助となれば幸いです。

地域を守る！「田んぼダム」出前講座を開催しました！ in 中埴小学校・青生小学校

11月13日、14日にそれぞれ美里町立中埴小学校5年生12名と青生小学校5年生11名を対象にした「田んぼダム出前講座」を開催しました。

宮城県では、近年多発する豪雨災害への対策として、水田の持つ雨水貯留能力を最大限活用し、洪水被害を緩和する「田んぼダム」の取組を推進しています。この出前講座は、小学生を対象とし、田んぼダムの仕組みや効果を知ってもらい、田んぼダムの取組への理解向上を目的として開催しているものです。

はじめに、近年、子どもたちがため池へ転落する事故が発生していることを踏まえて、こうした水難事故を防止するために、「ため池」の危険性をわかりやすく説明した注意喚起の動画を鑑賞しました。左の3つのため池ルールと一緒に音読し、ため池の危険性について確認しました。

守ろう！ため池ルール

- 1 きけんなため池に**近づかない**
- 2 フェンスの中に入らない
- 3 **遊んだり釣りをしない**

次に、「ちいきを守る田んぼダム～ふだんは田んぼ、ときどきダム～」と題し、田んぼダムの仕組みや効果などについて説明しました。普段は、お米を育てている田んぼが、田んぼダムに変身することによって、ダムとほぼ同じ量の水をため、洪水から私たちを守る力があることに生徒たちは驚いた様子でした。



▲中埴小学校



▲青生小学校

さらに、通常の田んぼと田んぼダムの排水量の違いを比べることができる模型実験では、住宅地に雨水が浸水し始めるまでの時間が、田んぼダムの方が遅いことに気づき、「この間に避難することが大切だね」と理解を深めていました。



◀ 青生小学校

その後の美里町クイズでは、スペシャルゲストとして、中埜小学校では、仙台・宮城観光PRキャラクターの「むすび丸」が、青生小学校では、美里町公認キャラクターの「みさとまちこちゃん」が登場しました。生徒たちは、地域の特産品や田んぼで育つお米について、クイズを通して、一緒に楽しく学んでいました。



◀ 中埜小学校

▶ 青生小学校

最後に、事前に絵つけをしたロート型堰板を、小学校周辺の田んぼに設置しました。実際に、自分たちの手で設置することによって、どのような仕組みになっているのか、実感を持って、田んぼダムへの理解を深めることができました。



◀ 中埜小学校



◀ 青生小学校

終わりに、生徒からは「普通の田んぼと田んぼダムの違いを感じとることができた」との感想が寄せられました。生徒たちにとって、今までは「田んぼ＝お米を育てている場所」でしたが、今回の出前講座を通して、「田んぼ＝私たちの暮らしを水害から守ってくれている場所」でもあるという新たな発見につながったようでした。

小牛田農林高等学校農業土木コースの学生を インターンシップ生として受入れました！

10月8日から10月10日の3日間、当部にて、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの2年生3名を、インターンシップ生として受入れました。

このインターンシップは、農業土木職員の仕事を実際に体験してもらうことで、仕事の内容を知ってもらい、今後の進路選択に役立ててもらうため、昨年度より開催しているものです。

インターンシップの内容は、当部に在籍する小牛田農林高校OB職員が検討・準備を行い、当日の講師も務めました。

県が発注した工事の監督業務の一つである段階確認に同行してもらい、表土量検収や、水路高やパイプライン管頂高の測定を行いました。また、水門ゲートの製作状況を知ってもらうために、工場見学も行いました。

最終日には、美里東部土地改良区と合同で、現況水路調査として、レベル測量を行い、現況水路高と計画水路高の差を求め、CADで図面作成を行いました。CADで土量算出を行った後、積算システムで工事費を算出するといった発注前の一連の作業も体験してもらいました。



レベル測量



工場見学



CAD・積算演習

この3日間を通し、生徒からは「公務員の役割と仕事の大切さを学ぶことができた」などの感想が寄せられました。

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部
〒989-6117 宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号
(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL：0229-91-0724

FAX：0229-23-5014

ホームページ：< <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/> >

Instagram「よしきたみやぎ」

< <https://www.instagram.com/yoshikitamiyagi/> >

